

朝食・昼食・夕食をとる場所はどこ？

北京、上海では社員食堂や飲食店、
東京では会社のデスクが多い昼食

「朝食をとる場所」については、3都市とも「自宅」と答えた人の割合がトップで、特に東京で高くなりました。北京、上海では屋台などの手頃な値段の飲食店が数多くあり、通勤途中に朝食を食べる人も多いようです。また、「食べない」と答えた人の割合は北京、上海では3%でしたが、東京では12%もあり、朝食の欠食率が高いことが特徴的でした。この理由と

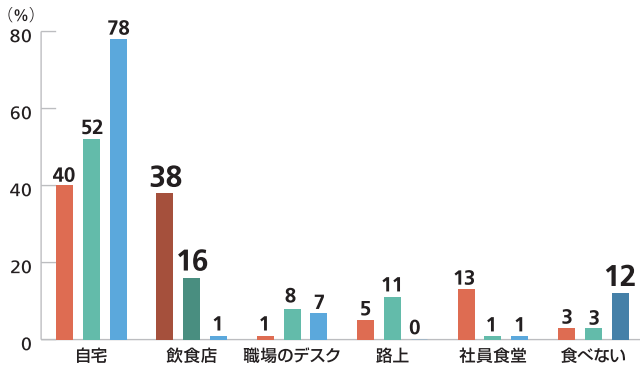
して、東京の食に関する意識の低さや通勤時間の長さなども関係していると推測できます。

「昼食をとる場所」については、北京、上海では「社員食堂」や「飲食店」が上位に入っていましたが、東京では「会社のデスク」の割合が最も高くなり、会社のデスクで弁当などを食べる様子が見えます。これは、コンビニの普及率や外食費の節約、給食施設の有無などの影響があると考えられます。

「夕食をとる場所」については、3都市とも朝食と同様に「自宅」と答えた人の割合がトップとなりましたが、北京では9%の人が社員食堂で食べることが特徴的でした。

朝食をとる場所

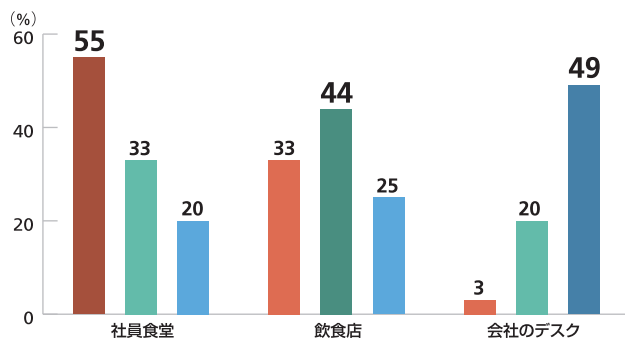
北京 n=300 上海 n=300 東京 n=300



北京・上海の屋台風景

昼食をとる場所

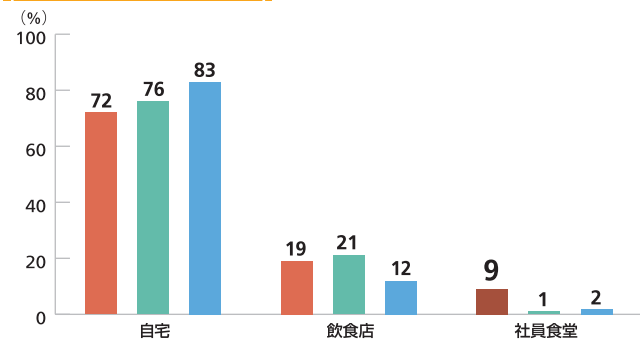
北京 n=300 上海 n=300 東京 n=300



北京・上海のオフィスビル内に併設されている飲食店
社員食堂として提携されているところもある

夕食をとる場所

北京 n=300 上海 n=300 東京 300



東京の会社のデスクでパソコンを使用しながらコンビニ弁当を食べている様子